



●柴崎寛子(ロコ)
令和元年5月着任
プロジェクト「タピオカ研究所」
タピオカの原料になっているキャッサバ芋はブラジルをはじめ、世界中で食べられている。来年からは栽培にもチャレンジ。キャッサバ芋を通して多文化共生を促進する。



●栗田安朗(ロビン)
令和元年7月着任
プロジェクト「湖南今日神話」
湖南省の歴史文化、特に寺社を深掘りして漫画にするプロジェクト。京都が舞台の「スサノオくん」が湖南・滋賀を駆け巡り、その魅力を市や県内外に発信する。



●江籙久美子
令和元年9月着任
プロジェクト「市民食堂」
地域の食材を使い、市民の憩いとなる食事を提供する。10月から毎週金曜日に今プラスでランチをスタート。お店の名前は「incolore(アンコロール)」



NCL 湖南事務局

NCL湖南ラボメンバーの募集活動からはじまり、現在は8名のプロジェクトをサポート。月に1度、メンバーが集まる勉強会を企画。

またスポーツフェスティバル&健康まつりでの健康食品開発や中学生アイデアキャンプなど、湖南省主催のプロジェクトにも運営などで参加。

チャレンジする市民を応援するための「湖南マイプロ実践塾」の主催や、石部の「まちづくりリノベーション構想」も自主事業で進めている。



▲左から光田さん、釘田さん、長砂さん

- 光田三穂
平成30年3月着任 チーフコーディネーター
無類の猫好き。仮想都市こにゃん市役所プロジェクトを企画。
- 釘田和加子
平成30年12月着任 コーディネーター
月に一度ヒンディー語講座を開催。現在インド料理のピリヤニを研究中。
- 長砂伸也
平成30年1月着任 コーディネーター
毎週木曜日に無料の駄菓子屋を実施。小学生向けの探究型の学習室を運営。



Next Commons Lab 湖南 1年の歩み

Next Commons Lab 湖南(NCL湖南)は、国の「地域おこし協力隊制度」を活用した新しい人の流れを作る取組であり、起業志向の人材を募集・採用し、移住定住の促進、地域経済循環の活性化などを推進する事業です。

平成30年1月に一人目が着任してから約2年が経ちました。現在、11人でさまざまなプロジェクトを進めています。



●近藤洋平
平成30年10月着任
プロジェクト「泊まれるギャラリー」
NCLの石部拠点になっている倉庫を改修して愛宕祭りの会場にするなど、縁の下の力持ち的な存在。
現在、石部の旧東海道沿いに古民家を改修したゲストハウスを準備中。



●近藤桃子(モモコ)
平成30年11月着任
プロジェクト「MOMOシュッパン」
移住者であるNCLの先陣を切って地域に飛び込み、ユニークなまちの人々を発掘。湖南省の人にフォーカスしたフリーペーパー、夫・洋平のゲストハウス1階でカフェをはじめます。



●中森 健
平成30年12月着任
プロジェクト「ものづくり拠点。未来志向の公民館」
市や県内外を飛び回り、人と人、アイデアとアイデアを結ぶプロデューサー。
NCLの他拠点との連携も進めています。3年後に湖南省で芸術祭の開催をめざす。



●柴崎友佑(ドリー)
平成31年4月着任
プロジェクト「Bookstore&Cafe」
京都でコーヒースタンドを営み、新しいチャレンジの場を求めて湖南省に。市内を巡回する湖南ふるほんマルシェを企画し、市民から集めた古本を活用して石部でカフェを開業予定。



●澤永 遼
平成31年4月着任
プロジェクト「スポーツのある暮らし」
幼い頃から続けているサッカーを中心に、様々なスポーツを経験。ブラジル発祥のレジャースポーツ「フレスコボール」の初代日本代表。
メンバーで唯一ポルトガル語が話せる。

